



Handsome

Handsome CONTENTS

March 2016

NETSU
LINK TO THE FUTURE

2016.3 No. 326

巻頭記事

次年度会長決定

2月例会開催

2月例会を終えて

政治行政委員会 委員長 浜田 貴稔

平成27年度

新入会員オリエンテーション開催

地域活性委員会臨時オープン委員会開催

特集 県青中40周年year ~縁を紡ぐ~
40周年記念事業基調講演開催

連載

卒会者からの教え 拝藤 博幸
会員当てクイズ この人はだれだ?!

権ちゃんの調べてみました

広報委員会 委員長 権田 和志

TSC地域貢献プロジェクト

大山お地蔵さまフェスティバル開催決定!!

仲問 スノーボード同好会紹介

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松田 幸紀

編集責任者/担当 副会長 廣谷 栄一 制作・編集 41期広報委員会/委員長 権田 和志 印刷所/東京印刷(株)

次年度会長が決定!

竹ノ内賢一郎次年度会長



【入会年度】 H19.08
【中央会経歴】 H21年度 副委員長 / H22年度 委員長 / H23年度 県出向 / H24年度 専務理事 / H25年度 県監事 / H26年度 副会長 / H27年度 監事

この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第42期会長にご承認をいただきました竹ノ内賢一郎です。どうぞ宜しくお願い致します。

松田会長からお話を頂戴して即答できず、悩み抜いてお返事をさせていただきましたが、臨時総会でご承認いただくまでは、大役の重たさに耐えていけるのか悩む日々が続いておりました。臨時総会での会員皆様の『異議なし!』にて『もうやるしかない!』に切り替えることができました。入会以来、普通の生活をしているとお会いすることのできないOB会員様・諸先輩方・会員の皆様に叱咤激励・刺激を頂戴し、今の自分があると思います。この役職を365日、1年間、全力で全うすることにより、形ではない何かしらの財産を見つけたく考えております。皆様におかれましては、更なるご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

今期も残り4か月。全会員で松田年度を熱い活動で盛り上げていきましょう!

2月例会開催



2月15日(月)境港マリーナホテルにて鳥取県西部中小企業青年中央会2月例会が開催された。当日雪の降る中、開催された例会であったが87名の会員が参加した。

冒頭、松田会長の挨拶で会員に向けて「今のビジネスで満足せずに、まだまだこんなもので終わらんとぞ!とと思っている人は挙手して下さい。」という問いがあった。会員全員が挙手し、松田会長も「さすが青年中央会」と驚かれたが、自身も「こんなものじゃ終われないぞと日々生活している。」と熱く話された。

又、例会前日までタイ王国に滞在されており現地の人とお話する機会があり、「今日本は雪が降って大変ですよ。」と話されたら、現地の人から「俺も雪を見てみたい。四季のある生活がしてみたい。」という言葉に「日本人とは違う感覚に戸惑いもあったが、見方を変えれば雪の降る飲食店を作れば流行るのではないかと中央会では異業種が集まっているが、目にしたのも、耳にしたもので感じることで、この先のビジネスが変わってくるのではないかと日々ビジネスチャンスに対するアンテナを張って頑張っている」という言葉で挨拶を締めくくられた。

続いて武田新入会員のバッチ授与式が行

われ、「中央会の一員として誇りを持って活動していきたい」と挨拶があった。

その後、臨時総会が行われ満場一致で「異議無し」の発声のもと竹ノ内賢一郎会員が次年度会長として承認された。

続いて政治行政委員会による(地域財産と地方創生)というテーマで勉強会が開催された。



第一部はソフトバンク・ヒューマンキャピタル株式会社の取締役であられる工藤泰正氏による講演で始まった。自己紹介ではまだ知名度の低いソフトバンクに転職され、今現在「働くを変える」という企業理念のもと地方創生支援事業として八頭町との取組について説明がなされた。総合戦略として4つの大きなテーマを掲げ、実行する事の大切さ、町の魅力をどう伝えるかが、いかに重要かと説かれた。本題では「潜在熱」という工藤氏による造語であるが、「地域のお役に立ちたいという気持ちの持ち主を発掘・着火・持続的燃焼をさせれば地域は必ず盛り上がる」という提言を頂いた。まとめでは孫社長による「出来ない理由ではなくて出来る理由を考え続ける」というお言葉でまとめて頂いた。

第二部ではパネリストとして境港管理組合 港湾管理委員会事務局長の細羽正氏・第一部の講師をされた工藤泰正氏・当会会員の株式会社皆生グランドホテル代表取締役

の伊坂明氏による地方創生という観点で観光というテーマに基づきディスカッションが行われた。

クルーズ船の寄港を活用して今後の課題や取組について細羽氏にお話し頂いた。日本地図を逆さにしてアジアを見るといかに境港が立地的に有利な条件にあるという説明があり、それが鳥取県西部の潜在力を浮かび上がらせるという事を教えて頂いた。



続いて伊坂氏から皆生温泉の状況についての説明があった。「ポテンシャルの高い地域であるが、他の地域の人にまだまだ知られて無い」と言われ、魅力を伝える為に、どのような工夫をされているかの取り組みを話された。

ディスカッション後の質疑応答では工藤氏から地の利を生かして海外にも目を向けたいとエールを頂き勉強会は幕を閉じた。(記事:渡邊公平)





去る2月15日(月)、境港マリーナホテルにおきまして、2月例会を開催させていただきました。当日は、寒波による吹雪にも関わらず、たくさんの会員の皆様にご参加いただきました。例会内事業では、『地域財産と地方創生～地域中小企業の役割～』と題して、第1部では、ソフトバンク・ヒューマンキャピタル株式会社の工藤 泰正氏に「地域の創生×“潜在熱”」という演題でご講演いただきました。現在、八頭町と契約して地域創生支援事業を進めておられ、廃校を活用した「まちづくりビジョン(隼Lab.)」や地域資源の可能性について熱く語っていただきました。

また第2部では、境港管理組合 港湾管理委員会事務局長 細羽 正氏と当会会員でもあります、株式会社 皆生グランドホテル 代表取締役 伊坂 明氏にもご参加いただき、観光というテーマでディスカッションを行いました。大型クルーズ船がもたらす地域発展のカギやそれを受け入れる地元宿泊施設のプライドと誇り、またこの西部地域の魅力と可能性についても言いただきました。初めての会場という事もあり、運営に際して反省する部分は多分でございますが、新鮮で活気に満ちた例会となりました。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

県中40周年year
～縁を紡ぐ～

県中40周年記念事業基調講演開催

鳥取県中小企業青年中央会(牧田県会長)は2月22日(月)、ヴィレステひえづで「創立40周年記念基調講演」を開催した。会場には鳥取県東部、中部、西部から100名を超える会員が集まり藤屋ニッチ戦略研究所(株)社長の藤屋伸二氏の講演を聴いた。

当日は「次世代の中小企業勝ち残り戦略」を演題に『図解で学ぶドラッカー入門』『ドラッカーのイノベーション』など経営コンサルタントとして世界に大きな影響を与えたピーター・ドラッカー関連の著書が多数あり、ドラッカー活用の専門家として高名な藤屋氏が中小企業における「ドラッカーのニッチ戦略」について解説した。



冒頭、牧田県会長から「今期はこれまで会員の親睦や交流を深めるための事業を中心に行ってきた。今日はそれぞれが勉強したことを明日への糧として具体的に活かせる。是非、皆さんに聴いてほしいと考えていた講演」と挨拶した。

講師の藤田氏は「難しい話はない。我々、中小企業の経営者がドラッカーをどのように活用できるか具体例を挙げて分

かりやすく解説したい」として『『ドラッカーのニッチ戦略』のニッチとは適所を見つけること。中小企業は大企業と同じモノサシで見えてはいけない。他社が追随できない独自の市場を見つけることが大切だ』と具体的な事例を挙げて解説した。

参加した会員からは「ニッチ戦略の重要性など改めて考えるよい機会になり発想の刺激になった」「自分が知っている会社など具体例を挙げて解説があったので分



かりやすかった」など好評で今回の講演を担当した村田理事は「今日は遠方からもたくさんの会員に参加してもらえて嬉しい。講演の内容を何か一つでも持ち帰ってもらえたらそれぞれの事業に活かしてもらえるのではないかと意義を語った。

(記事:小谷)



卒会者からの教え

「中央会とは大人の学校である」

村藤博幸会員

(平成13年4月入会)

私は、中央会に入会させて頂いて、沢山の事を学ばせてもらい成長しました。

結婚して、子供に恵まれて、家を購入して、会社も起業する事ができました。すべてこの会が関わっています。当然家族にも、この会の認識度は高く年に一度は、家族例会に参加して、沢山の友人もいます。

初めの頃は、よく先輩に、お叱りを受けました。当時は、なぜお叱りを受けたかも分からなかったものです。やっと今になって、言われていた事が分かるようになりました。

失敗があるから、成功に繋がる場である。失敗しても、守ってくれる仲間がいる。私にとって中央会は、大切な宝物である。これからも、失敗を恐れず、成長して行きたいです。



平成27年度 新入会員オリエンテーション開催

平成28年2月18日(木)米子コンベンションセンター第一会議室にて平成27年度新入会員オリエンテーション(担当:中央会発掘委員会)が開催され、新入会員10名が参加しました。

冒頭に松田会長の挨拶があり、「私も11年前に受けたが少し軽い気持ちで受けてしまい、後々に中央会という会を理解するのに時間がかかった。新入会員の方には同じ思いをしないようにしっかり受けて欲しい」とお言葉を頂きました。長谷川専務理事からは今年度のスローガンの「熱」とテーマ「未来を繋ぐ」の説明をして頂き、中央会への熱い思いを受けました。

オリエンテーションでは、当会の概念・活動内容だけでなく規約や内規・組織図の

説明を受けました。また、関連団体である鳥取県中小企業団体中央会やOB会、鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会との関わり、皆生トライアスロンや選挙活動に対するスタンスについての説明や、周年事業への取り組みについて等の説明がありました。



最後に、第40期 待テストに続き今回で2回目となる中央会テストが行われました。オリエンテーション後の懇親会で結果が発表され、1位は梅原会員(嵯米子マツダ 地域活性委員会)が見事受賞されました。[下に副賞の記事掲載]

(記事:新井)

地域活性委員会臨時オープン委員会開催

平成28年2月17日(水)、米子市公会堂 集会室1,2にて、大山寺圓流院住職の大館氏をお招きし地域活性委員会のオープン委員会が行われた。当日は40名以上の参加があり、この企画に対する会員の期待の高さが伺えた。



開会にあたり、松田会長は「外部の方からの『中央会はどんな活動をしているのか』という問いに、トライアスロン以外ではっきり答えられる事業をしたい」と述べられ、当会の新たな継続事業への取り組みを後押しした。続いて、地域活性委員会の足立委員長は「お地蔵さまフェスティバルの前に、お地蔵さまとは?というところから大山との

関係性について皆さんに知ってほしい」と述べられ、委員会が始まった。

講演の冒頭、大館氏より「大山は開山1,300年を迎える一方で、中央会も創立から40年経ち新たに永続的なイベントを考えておられる。時期が重なったのも何かの縁だろう」とのお言葉を頂き、講演会が始まった。

大山寺の歴史やお地蔵さまの位置づけなどをお話された後、仏像の模写を通して「子供に模写をさせると一つとして同じ顔にはならない。同じ子に同じ絵を写させても違う顔になる。命も同じで一人ひとりが違い、一人ひとりが大切。命や心を傷つける行為は絶対にしてはいけない」と説かれていたのが印象的だった。

(記事:高田)



仲問 TSCスノーボード同好会紹介

第41期総務委員会の長谷川です。皆様はスノーボードと聞いて何を思い浮かべるでしょうか。寒い・怖い・若者だけのスポーツ…安心して下さい、決してそのようなことはありません。リフトを降りて眼下に広がる白銀の絶景、普段味わう事の無い疾走感、そして同じ時間を過ごす仲間。

私は昨年度に入会し、早いもので1年半が経ちました。入会時は右も左も分からない状態でしたが、会員の方とスポーツなど趣味を通して交流させていただく機会が何度かあり、普段顔をあわせる機会の少なかった方とお話をしたり、意外な一面を垣間見たり…多くの発見があると共に多くの方と交流を持つことができました。そのお陰もあり、今では例会などで会員の皆様と言葉を交わす機会も増え、中央会活動がより実りのある楽しいものになってきています。



エルニーニョ現象でも暖冬でも、山に雪はあります!交流の場として、さまざまな発見の場としてウィンタースポーツはいかがでしょうか。スノーシーズンはあとなずかではありませんが、スノーボードやスキーなどのウィンタースポーツをされる方、興味をお持ちの方は是非お声がけください!

(記事:長谷川恵一)



中央会テスト優勝者Q&A

梅原雅明会員 (嵯米子マツダ)

平成27年7月入会

Q. 現在の会社に入社の動機は?

A. 動機は、勢いで適当に(と言うと失礼ですが)受けたら入れました…。今は米子マツダに入社してよかったと思っています!

Q. おすすめのマツダ車は?

A. オススメ車はカーオブザイヤーを受賞したロードスターです!中央会のどなたかに乗って頂きたいです。

Q. マツダの車以外で好きな車は?

A. 他社ですとBMWがアウディです!

Q. 趣味は?

A. 趣味は熱帯魚飼育です!今は断念してメダカ飼育してます。

Q. 好きなスポーツは?

A. 好きなスポーツは、運動音痴なのでする事はないですが、格闘技全般は見るのが大好きです!

Q. 好きな人物は?

A. 戦国時代・豊臣政権下五大老の一人、宇喜多秀家です。関ヶ原の戦いで没するのですが、敗れる側に(自分自身が)共感してしまうようです。

Q. 好きな女性のタイプは?

A. 女性のタイプは、好きになったら、その人がタイプになります(笑)。※昨年の夏にご結婚されました!

Q. 自分の長所と短所を教えてください。

A. 長所はどこまでも寝られる事です。基本的に寝る事が好きです…。短所はたくさんあり過ぎて伝えきれません。車で表すとポンコツです!

Q. 最後にひとことお願いします。

A. ご覧のように面倒くさがり屋でコレといった特徴もない私ですが、これから当会の活動を通じて「厳しさ」と「遊び」を学び、そのふたつにメリハリをつけ活動していきたいと思っています。

告知

TSC地域貢献プロジェクト

大山お地蔵さまフェスティバル開催決定！！

とき：平成28年4月17日（日） 場所：大山寺参道周辺

松田会長が今期掲げられた新しい継続事業開催の詳細が明らかになった。「大山お地蔵さまフェスティバル」と題し4月17日（日）に開催される。そこで本事業の企画・運営の中心となる地域活性委員会の足立委員長にお話を伺った。



『中央会に、トライアスロンと並ぶ新しい継続事業を！』との松田会長の想いを受け、地域活性委員会は地元大山に着目いたしました。大山について調べていくうちに、大山寺のご本尊がお地蔵さま（地蔵菩薩）と知り、また大小多数のお地蔵さまが大山に祀られていることに気が

付きました。お地蔵さまは老若男女問わずご利益を授ける存在であり、その事を子供たちや若い方々に知っていただき、お地蔵さまを通じて地元大山により興味を持っていただく事が本事業の目的です。

イベント内容といたしまして、お地蔵さまやその周辺の清掃を中心に、地元の園児によるお地蔵さま絵画コンクール・子供向け縁日・お地蔵さま紙芝居・豚汁などの軽食配布を行います。是非、お子様連れでご参加ください！
（地域活性委員会 委員長 足立 駿）

権ちゃんの調べてみました

大山の地蔵信仰について

改め、草庵を結んで地蔵尊をご本尊として祀り、日本で一番地蔵信仰が根付いたとされています。その為なのか、道中には石地蔵が数多く残されています。地蔵の寄進は山陽地方からが多く、また京の仁和寺に住む僧が大山の地蔵菩薩を拜むと、霊験が上がったとも言われています。また、江戸中期以降、一町（約109m）ごとに置かれた一町地蔵は参拝者にとってありがたい道標になりました。奈良時代、平安時代には地蔵信仰は無かったようですが、その頃は阿弥陀如来がおられ地獄に落ちる前に救ってもらえたからだそうです。しかし、平安時代末期には武士が起り、世の中が乱れ、人間は例外なく地獄に落ちるといった考えが広まりました。一度地獄に落ちた人を、阿弥陀如来は救えません。そこに地蔵菩薩が現れ、地蔵信仰が始まったそうです。

奈良時代718年（約1300年前）出雲の国の人で俊方によって大山寺が開かれたと伝わっています。「選集抄」や「大山寺縁起」には、俊方がある日、鹿を追って大山に入り、みごと鹿を射止めたが、それは鹿でなく地蔵尊であったそうです。俊方は大いに殺生は罪深い事だったと悟り、出家してその名を金蓮としました。一度地獄に落ちた人を、阿弥陀如来は救えません。そこに地蔵菩薩が現れ、地蔵信仰が始まったそうです。

大山寺圓流院の大館住職によると、全ての生命が生まれてから死ぬまでを、お地蔵様がひとりひとりを担当し、特に子供の守り神となっているとの事でした。お地蔵さまを大切にすることにより、命の大切さを子供に教える事が重要だという言葉にとっても感銘を受けました。
（記事：広報委員会 委員長 権田和志）

Q&A 会員当てクイズ



この人はだれだ！？



答えはホームページをCheck！！

（本人よりひとこと）
高校時代の写真です。当時は勉強と部活で大忙しでした。修学旅行は無い学校だったので、数少ないイベントの中の一つの遠足も楽しい思い出です。

編集後記

今月は境港マリーナホテルで開催された2月例会や地域活性委員会の臨時オープン委員会、新入会員オリエンテーション、県青中創立40周年記念事業の基調講演などのイベントが盛り沢山でネタには事欠かない月でした。だからと言って手を抜いてるわけではないですよ！いや、ホントに。(汗)
（足立 匡）

メールアドレス変更のお知らせ

41期政治行政委員会・浜田貴稔委員長のメールアドレスが変更となりました。

新メールアドレス hamada@nonoko.co.jp
お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

3月役員会報告

3月役員会が平成28年3月1日（火）米子市公会堂 集会室1にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・2月例会報告の件
 - ・3月例会開催の件
 - ・4月例会TSC地域貢献プログラム開催の件
 - ・その他
- ※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

3月例会案内

とき：平成28年3月15日（火）19：00～21：10

ところ：米子全日空ホテル

内容：掘削して広げよう！現役会員の“わっ”

担当：第41期 中央会発掘委員会